

先週のマーケット動向(6月27日～7月1日)

為替、株式

	Open	High	Low	Close	Chg
USD/KRW	1,290.0	1,303.7	1,280.6	1,297.3	▲0.9
JPY/KRW	9.5520	9.6278	9.4715	9.6089	▲0.020
KOSPI	2,383.20	2,422.10	2,291.49	2,305.42	▲61.18

(Source: SMBS, Bloomberg)

先週のドル/ウォン相場は下に行っており、FRB高官が市場のリセッション懸念をけん制したこと等をうけ、27日は1,290.0ウォンと先週末比ドル安でオープン。月末の実需のウォン買いに加え、外国人投資家による韓国株売りも一服したことで、ドル/ウォンは週安値1,280.6まで下落した。しかし29日に習近平国家主席が防疫措置緩和に反対姿勢を示すと市場のリスクセンチメントが悪化しドル/ウォンは上昇。海外時間には米1QGDP確定値が下方修正される等、市場は再びリセッションを意識する展開となり、30日にドル/ウォンは1,303.7まで上昇した。週末にかけては市場全体でリセッションを懸念した米金利の低下によりドル売り地合いではあったものの、外国人投資家による韓国株売りや、1日発表の韓国6月貿易収支が巨額の赤字を記録したこと等あり、ドル/ウォンの下値は限定的。結局先週末対比0.9ウォン下落した1,297.3ウォンでクローズ。

今週の見通し

今週のドル/ウォンは底堅い展開を予想。市場はリセッションを懸念して米長期金利は低下傾向ではあるものの、FRBはインフレ撲滅のためにオーバーキルも辞さない構えであり、リセッションを恐れて米政策金利の引き上げ速度が遅くなるとは考えにくい。13日に控えるBOK会合では50bpの利上げを期待する向きもあるものの、貿易収支の悪化など実需のウォン買いは弱く、ウォン買いにはなりにくい状況だ。ただし、当局による為替介入への可能性は十分あり、突発的なドル/ウォンの下落には備えたい。

予想レンジ

USD/KRW	JPY/KRW	USD/JPY
1285 ~ 1315	9.45 ~ 9.75	134.2 ~ 136.2

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

* USD/KRW chart (source: Bloomberg)



* JPY/KRW chart (source: Bloomberg)



今後の予定

- 5日(火) 欧 6月 サービス業PMI 確報値
米 5月 耐久財受注 確報値
米 5月 製造業受注
韓 6月 CPI
中 6月 総合PMI
中 6月 サービス業PMI
- 6日(水) 米 6月 サービス業PMI 確報値
米 6月 ISM非製造業景況指数
米 FOMC議事録
- 7日(木) 韓 5月 国際収支
米 6月 ADP雇用統計
- 8日(金) 米 6月 非農業部門雇用者数
米 6月 失業率
日 5月 国際収支